

平成 24 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 23 年度実績と平成 24 年度計画)

【1枚目】

事業コード	33230001	
事務事業名	国際交流推進事業	
予算書の事業名	20. 国際交流推進事業	
事業期間	開始年度	平成5年度
	終了年度	当面継続
	業務分類	6. ソフト事業
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	01020200
部名等	企画総務部	
課名等	地域協働課	
係名等	協働推進係	
記入者氏名	米島 智晴	
電話番号	0765-23-1017	

政策体系上の位置付け	コード2	332003
政策の柱	基1 にぎわい、活力あるまちづくり	
政策名	3 交流と連携によるにぎわい創出	
施策名	2. 多様な交流の推進	
区分	なし	
基本事業名	国際交流の推進	

予算科目	コード3	001020101
会計	一般会計	
款	2. 総務費	
項	1. 総務管理費	
目	1. 一般管理費	

◆事業概要 (どのような事業か、事業の内容、業務の手順など)				実績		計画・目標				
国際交流、国際社会との共生を目指し、国際交流事業を企画し、また、民間団体、市民間で進められる様々な国際交流事業の支援に努める。				単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)	→	① 人口	人	45,176	44,812	44,966	44,728	44,490	
	②									
	③									
手段	<平成23年度の主な活動内容> 国際交流推進員の派遣及び国際交流事業の企画、実施 商工観光課で作成する観光パンフレットの英語・中国語・韓国語の翻訳を国際交流推進員等に依頼	→	① 「世界の料理でいただきます」等の国際交流事業の参加人数	人	108	93	110	110	110	
	*平成24年度の変更点 国際交流推進員の企画・運営による「国際交流サロン」の開設		② ハロウィン参加人数	人	162	135	150	150	150	
	③ 国際交流推進員事業件数(派遣、紹介、打合せ)		回	11	11	15	15	15		
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 外国人との交流が深まる。 国際感覚が豊かになる。	→	① 国際交流推進員として登録する者	人	15.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
	② 国際社会への理解・交流が進み、外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整ってきていると感じる市民の割合		%	9.90	19.20	20.00	20.00	20.00		
	③									
その結果	<施策の目指すがた> ・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。 ・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。		↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入							
◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 平成元年、タイ王国チェンマイ市と友好親善都市の盟約を締結した。 国際化に向けた市民の関心と今後の在住外国人の増加に備え、国際社会への対応が求められた。				財源内訳	(千円)	0	0	0	0	0
				(1)国・県支出金	(千円)	0	0	0	0	
				(2)地方債	(千円)	0	0	0	0	
				(3)その他(使用料・手数料等)	(千円)	32	11	30	30	
				(4)一般財源	(千円)	559	480	531	531	
				A. 予算(決算)額(①~④の合計)	(千円)	591	491	561	561	
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)				①事務事業に携わる正規職員数	(人)	3	2	2	2	
近年、チェンマイ市とは公的レベルでの交流をほとんど行っていないが、友好親善都市の盟約締結をしている以上は、細くとも長く交流を続けている。 魚津市日中友好協会と蓬萊市貿易対外友好協会と友好協定が締結される等、蓬萊市とは民間での交流が進んでいる。 今後ますます在住外国人との多文化共生社会への取り組みが重視されてくる。				②事務事業の年間所要時間	(時間)	1,300	1,100	1,100	1,100	
				B. 人件費(②×人件費単価/千円)	(千円)	5,467	4,626	4,626	4,626	
				事務事業に係る総費用(A+B)	(千円)	6,058	5,117	5,187	5,187	
				(参考)人件費単価	(円@時間)	4,205	4,205	4,205	4,205	
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) 中国蓬萊市及び日中友好協会から、魚津市との行政同士の友好交流の締結を要望されているが、当面は民間レベルでの交流を進める。				◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)					
				● 把握している	黒部市、滑川市等国際交流員が在籍している市町は、国際交流員を中心に事業が展開されている。他に、国際交流協会等の同好会的グループによる交流事業が行われている。					
				○ 把握していない						

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度（事務事業の施策の目指すがたに対する直結度（対象・意図の密接度）とその理由説明）	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 国際社会への対応のための市民育成事業は他にはない。 中国の成長、交流度合いの増加により在在外国人は増加しており、共存、共生社会への市民の理解が必要。
2. 市の関与の妥当性（なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か）	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間（市民・企業等）によるサービスの実施が不可能（又は困難）なため、市による実施が妥当 <input checked="" type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小（廃止）が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地（【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由）	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地（成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか）	
あり	説明 市の国際交流事業に企画の段階から推進員等に積極的に参画してもらうことにより、バリエーションの多い事業推進が図られる。
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無（どう効果が高まるか説明）	
なし	説明 関連する他の事業はない。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地（仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 精査した上での事業費であり、国際交流推進員の今後の活動への影響もあり、見直す余地はない。
7. 人件費の削減の余地（今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 必要最小限の人件費である。

【公平性の評価】

8. 受益機会の適正化の余地（受益の機会が偏っていて不公平でないか）	
あり	説明 「世界の料理でいただきます」など小規模な国際交流事業の場合、参加者（20人程度）を募って実施しているが、同じようなメンバーが参加するなど参加者に偏りが見られる。
9. 受益者負担の適正化の余地（県内他市と比較し、適正な水準か）	
平均	説明 「世界の料理でいただきます」では、食材費相当分の参加費を徴しているため、適正な水準である。

★ 評価結果の総括と今後の方向性	
(1) 評価結果の総括	
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり
② 有効性	<input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 成果向上の余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり
④ 公平性	<input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり
(2) 今後の事務事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状のまま（又は計画どおり）継続実施 <input type="text" value="年度"/>	
<input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止	
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携	
<input type="radio"/> 目的見直し	
<input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善	

★改革・改善案（いつ、どのような改革・改善を、どのような手段で行うか）		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度（平成24年度）	国際交流推進員は、これまで、市が企画する国際交流事業への参加協力が主であったが、国際交流推進員が自ら企画に携わる事業を実施することで、国際交流推進員の認知度を高める。
	中・長期的（3～5年間）	国際交流推進員を活用した草の根国際交流事業の充実を図る
		コストの方向性
		維持
		成果の方向性
		向上

★一次評価（課長総括評価）		二次評価の要否
平成24年度から国際交流サロンを開き、市内の外国人や、国際交流推進員が自由に交流し、お互いの絆がいつそう育つよう配慮する。また、国際交流推進員が自ら企画に携わることで、市民参画・協働が進むよう働きかける。		不要
★二次評価（経営戦略会議評価）		